平安時代プリント

名前

問1　12世紀後半、武士として初めて太政大臣となり、中国の王朝である宋との貿易による利益を求めて、現在の神戸市にあたる兵庫の港（大輪田泊）を整備した人物は誰ですか。（2023年 山口公立入試 類似）

1. 平清盛　2. 足利義満　3. 菅原道真　4. 小野妹子

問2　歴史の学習において、平安時代に活躍した人物の事績をまとめた資料を作成したところ、一人の僧侶について「唐から帰国後に真言宗を開き、高野山を拠点として日本独自の密教を発展させた」という記述になりました。この人物に該当するのは誰ですか。（2023年 徳島公立入試 類似）

1. 空海　2. 最澄　3. 栄西　4. 道元

問3　平安時代中期の文化において、藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂に代表されるような、日本独特の風土や感情に合わせた文化の総称と、その背景にある信仰の組み合わせとして正しいものを選んでください。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. 国風文化 — 浄土信仰　2. 天平文化 — 浄土信仰　3. 国風文化 — 禅宗　4. 弘仁・貞観文化 — 密教

問4　岩手県の平泉に現存し、奥州藤原氏によって建立された中尊寺金色堂に関する説明として、当時の時代背景や地理的状況を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。（2016年 茨城県公立入試 類似）

1. 北方の交易拠点である十三湊などを通じた経済力を背景に、京都の文化を取り入れつつ独自の仏教文化を形成した。
2. 足利義政が東山文化の代表として建立した慈照寺銀閣の影響を強く受け、東北地方における禅宗の普及に貢献した。
3. 堺や博多の豪商と結びつくことで海外の最新技術を導入し、日本で初めて鉄砲を実戦で使用するための軍事拠点とした。
4. アイヌの人々が信仰する独自の宗教施設として建立され、後に東北地方を支配した戦国大名の居城として改築された。

問5　平安時代、遣唐使の停止を経て日本の風土や生活に合わせた文化が発展しました。この時期に醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集を何といいますか。（2019年 長崎県公立入試 類似）

1. 古今和歌集　2. 万葉集　3. 新古今和歌集　4. 懐風藻

問6　9世紀初め、遣唐使とともに唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた僧侶は誰ですか。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 最澄　2. 空海　3. 行基　4. 鑑真

問7　平安時代中期、遣唐使の停止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達しました。この文化において、宮廷生活での観察や自然の美しさを「をかし」という感性で描き、『枕草子』を著した人物は誰ですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 清少納言　2. 紫式部　3. 鑑真　4. 聖武天皇

問8　白河天皇が始めた政治の仕組みにおいて、天皇が位を譲った後に「上皇」として政治を行う体制を何と呼びますか。その名称と目的の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2023年 和歌山公立入試 類似）

1. 院政 — 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため
2. 摂関政治 — 天皇の外祖父として、幼い天皇に代わって政治を代行するため
3. 公武合体 — 朝廷と幕府の結びつきを強め、国の政治を安定させるため
4. 執権政治 — 将軍の補佐役として、鎌倉幕府の実権を独占するため

問9　「源氏物語絵巻」などの絵巻物には、当時の貴族の生活風景とともにその邸宅の様子が詳しく描かれています。これらの資料に見られる、平安時代の建築様式について述べた文として正しいものはどれか。（2014年 和歌山公立入試 類似）

1. 自然との調和を重視し、池や庭園を眺められるよう建物が廊下で結ばれた寝殿造が用いられた。
2. 床の間や違い棚、畳を敷き詰めた部屋を特徴とする書院造が、貴族の日常生活の場となった。
3. 仏教の影響を強く受け、左右対称の伽藍配置を持つ寺院のような居住空間が一般的であった。
4. 防御機能を重視し、高い塀や堀で囲まれた質素で堅固な武家屋敷の構造を取り入れた。

問10　平安時代に藤原氏が権力を確立した「摂関政治」の仕組みについて、摂政という官職が果たした役割や背景を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2025年 高知公立入試 類似）

1. 天皇が幼少である期間に、天皇に代わって国政全般の裁定を下し、実質的な統治権を行使した。
2. 成人した天皇の最高顧問として、天皇の決定に対して最終的な承認を与える権限を持った。
3. 地方の武士団を統制するために、天皇から軍事指揮の全権を委託された。
4. 仏教勢力の政治介入を防ぐため、宗教儀礼と政務を切り離して天皇を保護した。

問11　1086年から始まった院政の時期、上皇は自身の権力を支えるために、独自の軍事組織や政治基盤を整えました。これに関する当時の状況として正しい記述はどれか、次の中から選びなさい。（2023年 香川公立入試 類似）

1. 「北面の武士」と呼ばれる独自の軍事力を組織し、自らの身辺警護や寺社の強訴を防がせた
2. 「執権」という役職を新たに設け、北条氏に政治の実務を代行させた
3. 「班田収授法」を厳格に実施し、公地公民の原則に基づく律令国家の再建を目指した
4. 「内閣」を組織し、国務大臣を選任することで近代的な議会政治の準備を進めた

問12　平安時代末期に武士として初めて太政大臣の位につき、現在の神戸市にあたる大輪田泊（おおわだのとまり）を修築して、海外との貿易を積極的に進めた人物は誰ですか。（2022年 佐賀公立入試 類似）

1. 源頼朝　2. 平清盛　3. 足利義満　4. 北条時宗

問13　歴史学習のテーマとして「国風文化」を扱う際、その代表例として「古今和歌集」が挙げられます。この歌集が「勅撰和歌集（ちょくせんわかしゅう）」と呼ばれる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 三重公立入試 類似）

1. 天皇の命令によって、国家の事業として編纂されたため
2. 中国から伝わった漢詩を、日本風の和歌に翻訳してまとめたため
3. 各地の有力な貴族が、自分たちの優れた和歌を自費で出版したため
4. 仏教の教えを広めるために、僧侶たちが和歌の形式を借りて記したため

問14　平安時代、大化の改新で功績のあった中臣鎌足の子孫として朝廷の要職を独占し、天皇の外戚（母方の親族）となることで長期間にわたって政治の実権を握った一族を選びなさい。（2018年 京都公立入試 類似）

1. 藤原氏　2. 平氏　3. 源氏　4. 北条氏